

科学技術これからの100年ロードマップ

2020年2月11日作成資料

1. 2019年度 サークル活動

2019年5月18、19日 熱海合宿

「未来を楽観的に考える」のプレゼンで未来を説明。楽天ではなく楽観的に未来を考えることを提唱。

それ以外にもう一つショートプレゼンにて100年は誰のための100年かを考えるか、を説明。

脱魔術化の思考展開の例で未来予測を提示。

ppt資料 思考展開 0622.pptx、2019熱海_中谷 pptx

2019年6月22日 京都フォーラム

午前中のプロジェクト、サークルリーダー会議で活動などを議論。熱海での内容を再度報告。

2019年12月14日 名古屋オープンフォーラム

オープンフォーラム用にポスターを作り直し。

2. 2020年度活動計画

「成長の限界」の呪縛から脱し、技術は人を幸せにできるのかを肯定的に捉えるように方向転換。

「繁栄のパラドックス」と「みんなのお金を配ったら」で技術が人を幸せにできることを確信。

単純に将来技術を予測することにはあまり意味がない、なぜなら50年前に描かれていた未来図と現実には大きなギャップはある。インターネットの登場は50年前には誰も予見できなかった。

出川先生の「ロードマップの誤解をとく本」が出ました。この本をベースに勉強会をすること、

ロードマップ=未来予測 ではないことを改めて認識することから100年ロードマップの在り方を考え直す。

以上